

Q & A

PubMed の検索結果に自館契約電子ジャーナルへのフルテキストリンクを表示させる方法

Q : 他大学の図書館のホームページを閲覧していて、PubMed に電子ジャーナルへのオリジナルのリンクボタンが表示されているのを見つけました。表示させる方法を教えてください。

A : PubMed の検索結果に自館で契約している電子ジャーナルへのフルテキストリンクボタンを表示させるには、LinkOut という機能を使います。<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query/static/liblinkout.html> にその概要と方法が記載されていますが、ここでは手順を簡単に説明します。

1) NCBI (National Center for Biotechnology Information) に参加申込みをする

NCBI とは米国保健省の下部組織で PubMed を作成している機関ですが、そこにメール (linkout@ncbi.nlm.nih.gov 宛) で LinkOut 参加希望の旨を伝えます。そのときに管理者のメールアドレスと電話番号も記載します。もちろんメールは英語で書かなければなりません、特に決まったフォームはなく、簡単な英語でも正しく内容が伝わりさえすれば十分です。そうすると、こちらでメールを出した時間帯にもよりますが、だいたい翌日か翌々日にはユーザネームとパスワードが送られてきます。

2) 登録する

ここからは前述のユーザネームとパスワードを使って管理画面に入り作業を行います。登録するには2つのファイルに情報を入力する必要があります。図書館についての情報を登録する Identity File と、図書館の電子ジャーナル購読情報を登録

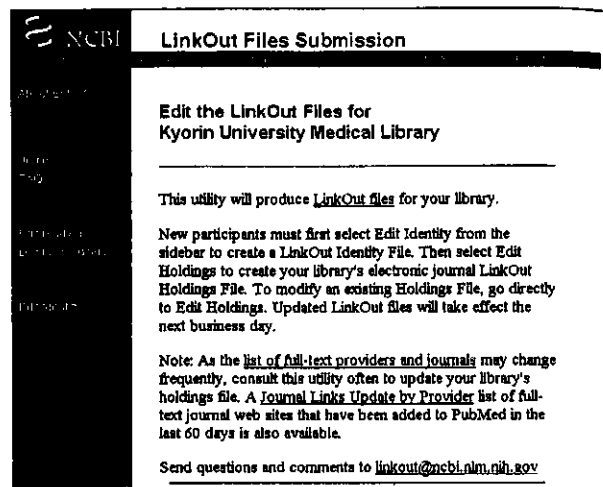


図1. LinkOut 管理画面

する Holdings File です。具体的な内容は次に説明しますが、登録に必要な項目は最低限のごくシンプルなもので、管理者に手間をかけさせない配慮が感じられます。管理画面へは <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/linkout/libHld> からアクセスします (図1)。

(1) Identity File

Identity File には、図書館名、図書館ホームページの URL、表示させたいアイコンの保存先 URL、管理者名とメールアドレスを登録します。

表示させたいアイコンはホームページ作成ソフトであらかじめ 100×25 ピクセル以内に作ってサーバに保存しておくときスムーズに進みます。このアイコンは検索結果の詳細表示をしたときに現れますが、出版社や雑誌のリンクアイコンがすでにある場合は、その隣に並んで表示されます。目立つように指定範囲内であるべく大きく作り、また所属機関のテーマカラーやロゴを使うと図書館利用者が一目でわかるので効果的です。

(2) Holdings File

Holdings File には、契約雑誌の利用可能な出版年にチェックを入れていきます。雑誌は全タイ

トルのアルファベット順か、出版社やアグリゲータなどの電子ジャーナル提供者ごとに雑誌のアルファベット順で表示させることができます。特定の提供者のタイトル全てにチェックを入れるという機能もあり、パッケージで購入している場合には便利です。また、登録した雑誌の一覧を見ることがもできます。

3) アイコンの反映

登録を済ませると、翌日か翌々日には検索結果の詳細画面にアイコンを表示することができます。そのためには、アイコン表示専用の URL から PubMed にアクセスする必要があります。http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi?holding=medlib がその URL ですが、最後の“medlib”の部分にはユーザネームが入ります。一般的に使われる PubMed の URL からでは表示できないので、図書館ホームページからのリンクを張り変えたり、利用者への広報を徹底させることが大切です。

以上で作業は終了です。

4) 登録できる雑誌

LinkOut に登録できる雑誌は、機関で契約している雑誌であることはもちろんですが、出版社やアグリゲータが PubMed にフルテキストリンクを提供しているタイトルであるということが大前提です。ある出版社の電子ジャーナルをパッケージ購入していても、その雑誌全てが LinkOut で提供されているわけではないですし、逆にパッケージには含まれないタイトルが LinkOut では提供されていることもあります。またフルテキストリンクを全く提供していない出版社もあります。LinkOut に参加するかしないかは提供者側の方針に委ねられています。

また、フルテキストを開くのに ID とパスワー

ドが必要な雑誌については、LinkOut でも ID とパスワードが必要となります。

5) その他

私の勤務する杏林大学医学図書館では、2001年7月に LinkOut の登録を行いました。その後他館に勤務する知人からやりかたを教えて欲しいという問い合わせが何件かありましたが、その中でよく聞かれる質問がありました。「どのくらいの手間がかかるか」ということと、「メンテナンスは大変ではないか」というものです。

手間に関してはアイコンを作成するのと、雑誌約 200 タイトルを登録するのに正味半日強かかりました。これは登録するタイトル数にもよるので一概には言えないのですが、当館の場合少なかったせいもあり、思ったほど大変ではないというのが個人的な感想です。

メンテナンスに関しては、Holdings File にチェックを入れたり消したりするだけで、反映されるのはだいたい翌日になります。ただ、現時点(2001年12月)ではまだ新しい契約年に入っていないと大きな変更がないため、それがどの程度煩雑になるのかよくわからないというのが本音です。冊子体を購読しているために電子ジャーナルへのアクセスができるというケースでは、その方針が途中で変更されてフルテキストが見られなくなることもあるので、注意しなくてはなりません。この点は、図書館のホームページで電子ジャーナル一覧を提供している場合と同じことです。

それから、LinkOut に関するお知らせは、メーリングリストによって配信されています。管理者の方は購読することをお勧めします。詳しくは冒頭で紹介した URL を参照してください。

(杏林大学医学図書館 諏訪部直子
oidenao@lib.kyorin-u.ac.jp)